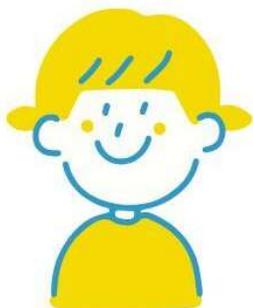


令和7年度 奈良県幼・小・中・義務教育学校

教育課程研究集会

中学校 音楽科



# 学習指導要領の趣旨を踏まえた 指導の在り方について

奈良県教育委員会事務局  
義務教育課  
授業力向上係  
指導主事 鳥羽 愛

# 音楽科において育成を目指す資質・能力

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

思考力、判断力、表現力等

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

学びに向かう力、人間性等

# 幅広い活動

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

2領域4分野を  
偏りなく扱う。

様々な表現形態の  
音楽表現を  
体験させる。

我が国や諸外国の  
様々な音楽を  
教材として用いる。

様々な学習形態の中で  
音楽表現を創意工夫し  
たり、音楽のよさや美し  
さを味わったりできるよ  
うにする。

**音や音楽と触れる場면을充実させる**

## 音楽的な見方・考え方

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

音楽に対する感性を働かせ、  
音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、  
自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと  
関連付けること。

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた三つの視点からの授業改善

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

- 生徒が主体的に学習に取り組みたくなる題材を構想する。
- 生徒が自らの学習状況を評価できる場面を設定する。
- 生徒の実態に応じた評価規準を設定する。



# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた三つの視点からの 授業改善

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

- ・ 一人一人が客観的な根拠を基に他者と交流し、自分なりの考えをもったり音楽に対する価値意識を更新したり広げたりさせる。
- ・ 言葉によるコミュニケーションを適切に位置付けることによって、音や音楽によるコミュニケーションを充実させる。



# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた三つの視点からの授業改善

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

- ・ 一人一人が音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽と主体的に関わることができるようにすること。
- ・ 他者と共有・共感したりする活動を適切に設定すること。



# 各学校におけるカリキュラムマネジメントの推進

---

生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、

- ・ 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ・ 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことに努めるものとする。

## 年間指導計画の点検事項

1. 2領域4分野を偏りなく扱っているか。
2. 学習指導要領の「内容」に示された全ての指導事項を扱っているか。
3. 各題材で扱う「内容」の事項の組合せは適切かつ効果的か。
4. 各領域や分野で育成を目指す資質・能力の相互の関連や接続等が図られているか。
5. 各題材で育成を目指す資質・能力の相互の関連や接続等が図られているか。
6. 学校における他の教育活動との関連や接続等が図られているか。



## まとめ

---

- 生徒が幅広く音や音楽に触れる場면을充実させることを大切にし、生徒が音楽に対し、多様な観点から主体的に関わりをもてるようすることが重要。
- 「音楽的な見方・考え方」を働かせ、「活動」を質の高い「深い学び」とすることが重要。
- 限られた時数の中で、確実に効率よく生徒の資質・能力を育成するために、カリキュラムマネジメントが重要。

## 参考資料

- ・ 初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について  
(諮問のポイント:詳細版)



[https://www.mext.go.jp/content/20250327-mxt\\_kyoiku01-000039494\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250327-mxt_kyoiku01-000039494_2.pdf)

- ・ 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のための  
サポートマガジン『みるみる』



<https://www.mext.go.jp/content/000356850.pdf>